LIVOS テクニカルデータシート

カルデット　浸透性着色オイル　No.270　F☆☆☆☆／JASS 18 M-307

屋内・屋外のあらゆる木材着色

適用範囲	屋内・屋外のあらゆる木材着色。OSB や MDF にも適しています。 バルコニーなどの頻度の高い屋外の歩行領域には適しません。（062 ウォルナットを除く）
製品特性	意匠性が高く、深く浸透し撥水性があります。充分に塗装された木部は耐候性が高まります。 通気性を保ち、天然の木目を引き立てます。 汗・唾液に対する色彩堅牢性についてのドイツ工業規格（DIN 53 160）に適合。 幼児用木材玩具としての安全規格（DIN EN 71 Part3）に合格。 青斑点を防ぐ成分は入っておりません。
全成分	アマニスタンドオイル天然樹脂エステル・アマニオイル・酸化鉄及び鉱物顔料・アマニスタンドオイル・アマニウッドスタンドオイル・マイクロワックス・オレンジオイル・イソアリファーテ・アルミナ・無鉛乾燥剤 【下記の色はオレンジオイルを含みません。】 002（クリア）、022（ビーチ）、032（石松）、052（ブラジル）、076（オーク）、113（グリーン）、122（ウルトラマリンブルー）、202（ホワイト）はアレルギー体質対応商品としてご使用頂けます。
カラー	002 クリア　☆022 ビーチ　☆032 石松　☆042 チーク　☆062 ウォルナット　☆052 ブラジル　☆076 オーク　☆082 ローズウッド　☆102 黒檀　☆113 グリーン　☆122 ウルトラマリンブルー　202 ホワイト　☆212 ライトグレー ☆のついていないクリア・ホワイト以外は屋外に使用可能
希釈	使用後直ちにスバロス（No.222）で洗浄する。
施工法	ウエス（布）、刷毛、工業塗装
塗布面積	1 回目･･･約 14 ㎡/L（無希釈） 2 回目･･･約 19 ㎡/L（無希釈） 3 回目･･･約 30 ㎡/L（無希釈）
乾燥時間	気温 23℃　湿度 50％において 12～24 時間。約 24 時間後に 2 回目の塗布可能。 換気と証明に気をつけて、乾燥時間が長引かないように注意する。
比重	約 0.90g/ml（色により異なる）
安全上の注意	火気のあるところでの塗装はおやめ下さい。（消防法：危険物第 4 類 第 2 石油類） 使用時は喫煙を避け、換気してください。 塗料を浸したウエスやスポンジは、製品中に含まれる亜麻仁油のために自然発火する危険があるので、金属性の密閉容器に入れるか、水に浸した状態で保管する。（亜麻仁油を含んだウエス等が光や酸素を急激に吸収して酸化作用が促進され、発火する危険がある。製品自体が自然発火することはない。）
安全上のアドバイス	S2 子供の手の届かない所に保管してください。 S62 飲み込んだ場合、無理に吐かず、直ちに医師の診察を受けてください。 その際には本説明書又は容器ラベルを持参してください。
容量	0.75L/2.5L/10.0L

LIVOS 使用説明書

カルデット　No.270

木材の素地調整	木材は乾燥させ吸い込みがよく、ヤニや埃がない状態にし、＃180～＃240 以上のサンドペーパーをかけて、細かく研磨しておく。タンニン酸を含む木材は試し塗りした方がよい。接着剤は完全に乾燥させておく。塗装前にヤニ・樹脂等は、スバロス（No.222）で拭き取る。
屋内の施工	前もってデュブノ（No.261）をプライマーとして塗布し、研磨しておくと、その後の着色を均一に仕上げることができる。清潔な布や刷毛で木部に薄く塗装し、約 10～20 分後、吸収されなかった余分なオイルを、毛羽立ちのない布で拭き取る（仕上げが不均一になったり、表面に斑点ができるのを防止するため)。塗装するごとに 12～24 時間乾燥時間をおき、乾燥後毛羽立ちがあれば研磨する。塗布領域および保護の必要性に応じて、1～3 回塗装する。階段、床などの歩行領域には、クノスクリア（No.244-002)、アルドボス（No.266）などを上塗りすると良い。
屋外の施工	吸い込みの程度により、若干少なめにデュブノ（No.261）を浸透させる。10～20 分後、表面に残る余分なデュブノを取り除く。8～24 時間乾燥させた後、研磨する。4 週間以内に 3 回カルデットを薄く塗る。塗装するごとに、20 分ほど乾燥させた後もう一度刷毛をかけて表面を均一にならすと、美しい仕上がりになる。
OSB	屋内の施工：カルデットを 1 回塗りし、クノス（No.244）またはアルドボス（No.266）を 3 回上塗りする。 屋外の施工：デュブノ（No.261）をプライマーとして塗布し、カルデットを 3 回上塗りする。
合板	乾燥させ、表面を滑らかにし、ヤニや埃のない状態にする。＃180 のサンドペーパーで研磨し、カルデットを薄く 3 回塗装する。
古い塗装面の再生	(1)古い塗装が浸透性の場合　古い塗装を除去し、研磨する。適切な時期を過ぎている場合、素地調整から全ての塗装手順を行う必要がある。求める耐侯度、木の種類、塗る色により塗り替え時期は異なる。水気の多いところでは、定期的に塗り替えを実施する。 (2)古い塗装が造膜性の場合　古いペンキ類・ラッカー・ニス・ワックスなどは、研磨もしくは剥離処理して旧塗膜をきれいに取り去っておく。試し塗りをして表面の吸収性を確認しておく。塗装中は吸い込みムラが発生しないように、十分注意を払う。
注意事項	使用前に良くかき混ぜ、必ず試し塗りをする。作業中・乾燥期間中は、換気に十分気をつける。酸素と光が不足すると、亜麻仁油を含む塗料は乾燥に時間がかかり、亜麻仁油の匂いが長く残ることがある。キャビネットなどの塗装にはグレイボ（No.315）が適している。
道具洗浄	使用後直ちにスバロス（No.222）で洗浄する。
保管	乾燥した冷暗所に保管する。未開封の状態で 4 年間まで保存可能（ラベルを見て期限を確かめる)。使い残した分は小さな容器に移し替えて酸素に触れないように保管する。
廃棄	地域の規制に従ってください。